

News Release

2016年10月19日

株式会社日立情報通信エンジニアリング

人・モノの動線を計測し、位置情報の分析・利活用が可能な空間情報ソリューション 「動線計測ソリューション(Flow-based Object Tracking Solution)」を提供開始

株式会社日立情報通信エンジニアリング(代表取締役社長:小菅 稔、本社:神奈川県横浜市)は、人の流れをレーザー・レーダー方式で計測し、広域における動線や滞留状況などの解析が可能な「人流計測ソリューション」を機能強化・拡張し、新たに「動線計測ソリューション(Flow-based Object Tracking Solution)」として、本日より提供を開始します。「動線計測ソリューション」は、人に限らず、モノ(物体)の流れを含めた動線を計測し、BI^{*1}ツールやAI^{*2}などとの連携による位置情報の分析・利活用が可能な空間情報ソリューションを実現します。

近年、公共施設や商業施設においては、利便性の向上や防災・セキュリティなどの観点から、人の位置情報を取得し、その流れ(データ)を分析・利活用することが注目されています。また、工場・物流・倉庫施設などにおいては、インダストリー4.0(第4次産業革命)の進展により、施設内で働く人とロボットなど、モノの位置情報の重要性が高まっています。正確な位置情報、軌跡を取得することで、施設内における人とモノの流れをコントロールし、生産性の向上や安全な人とロボットの共存が可能となるため、ますます位置情報を計測・利活用できるサービスやソリューションが求められています。

当社は、これまで人の流れをレーザー・センサーで計測し、広域における人の動線や滞留状況などのリアルタイム監視と、各種解析が可能な「人流計測ソリューション」を提供してきました。オフィス・商業施設におけるレイアウト検証や、工場・倉庫における作業員の動線把握、進入禁止エリアへの侵入監視によるセキュリティ強化など、多様な用途・目的での導入実績を有しています。

このたび、当社は、この「人流計測ソリューション」の人流検知・管理機能をベースに、独自のアルゴリズムとカテゴリズによって、人だけでなく、モノの識別も可能な「動線計測ソリューション」を新たに開発しました。これにより、人とロボットなどの安全な共存が不可欠なフィールドでの利活用が可能となります。例えば、工場や物流倉庫などにおいて、フォークリフトや自動搬送車の稼働エリアに人が侵入した場合に検知・発報するといった安全対策のほか、軌跡情報を運行管理情報などと連携・解析することで、人と自動搬送車の共存による効率的な作業が実現できます。また、人と自動搬送車の作業エリアや作業工程の見直し、ルートの再設定など、業務改善やコスト削減にも有効です。

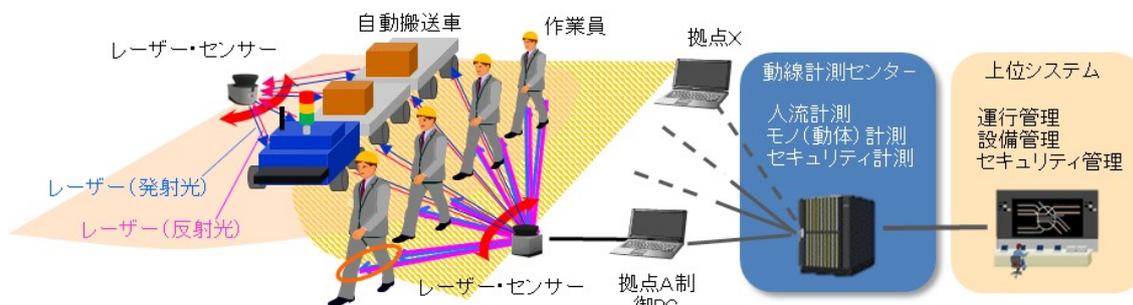
本ソリューションは、センサー拠点情報を集約管理するデータベース機能に、GIS^{*3}情報として国際標準仕様OGC^{*4}フォーマットを採用し、地図情報管理システムとの連携がスムーズに行えます。また、WEBアプリケーションによる動線情報のリアルタイム表示や閲覧、分析レポートを作成できる機能を有しており、お客さま自身によるオンラインでの分析レポートの作成が可能です。加えて、IoTプロトコルに上位アプリケーションやシステムとの連携が可能なMQTT^{*5}を採用し、LTE回線経由でのセンサー拠点情報の集約も図れます。

測定には、従来の2D方式レーザー・センサーに加えて、遮蔽による死角が多い環境でも物体の

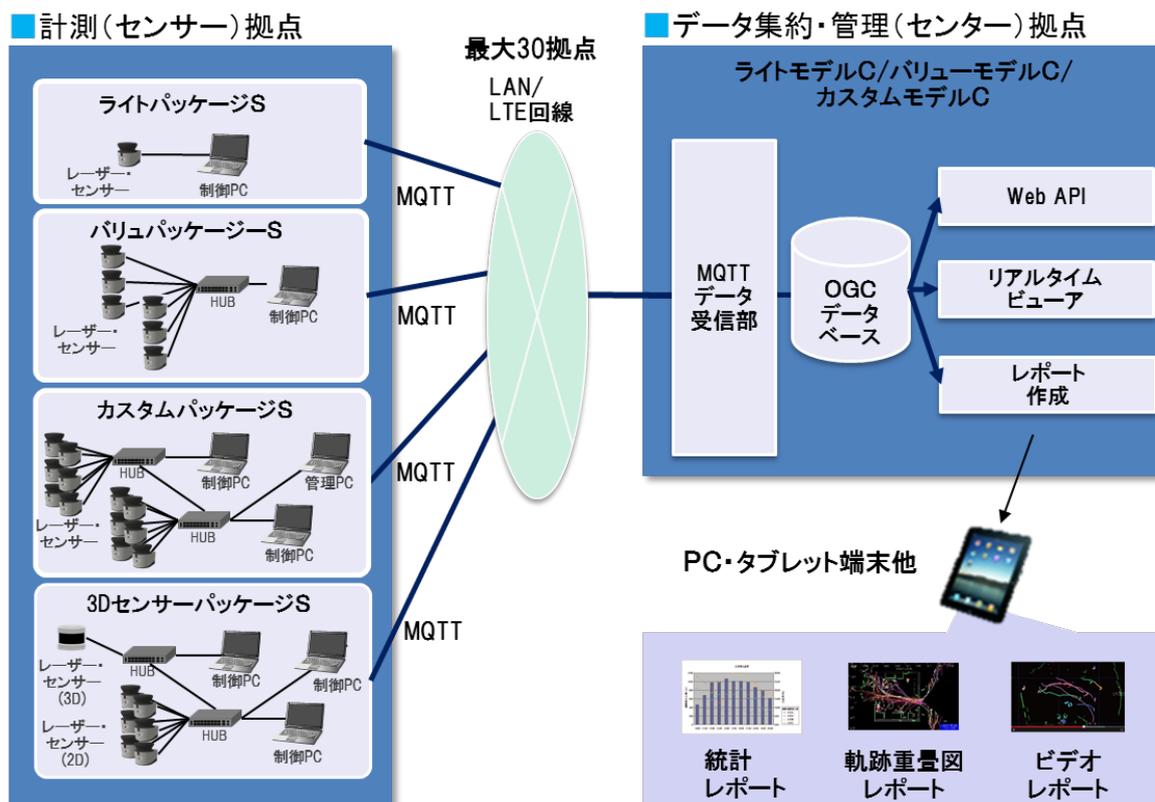
識別精度の高い 3D 方式レーザー・センサーをラインアップ化し、利用環境によらない柔軟な測定を可能としました。さらに、カメラシステムや RFID システムなど、他センサーと連携可能な汎用インタフェースを追加し、レーザー・センサーだけでなくさまざまなセンサー機器や上位アプリ、システムとの連携が可能となりました。データの分析・利活用において、ビッグデータアナリティクスの「Pentaho ソフトウェア」や人工知能「Hitachi AI Technology/H」などとシームレスな連携により、当社は、お客さまにとって新たな価値を創出していきます。

- *1 BI : Business Intelligence
- *2 AI : Artificial Intelligence
- *3 GIS : Geographic Information System
- *4 OGC : Open Geospatial Consortium
- *5 MQTT : Message Queeuing Telemetry Transport

■ サービス導入のイメージ



■ システム構成のイメージ



■「動線計測ソリューション」の提供メニューについて

計測(センサー)拠点ソフト(ライセンス販売)について

| 品目 | 構成 | 価格(税別) | 販売開始時期 |
|------------------|---|---------------|-------------|
| ライトパッケージS | <ul style="list-style-type: none"> ・動線計測ソフトウェア ライトS (レーザー・センサー:1台接続可) ・推奨測定範囲:約24m×12m(中距離センサー使用時) ・対象人数:~80名程度 | 800,000 円/年 | 2016年10月19日 |
| バリューパッケージS | <ul style="list-style-type: none"> ・動線計測ソフトウェア バリューS (レーザー・センサー:6台まで接続可) ・推奨計測範囲:約45m×30m(中距離センサー使用時) ・対象人数:~500名程度 | 2,400,000 円/年 | |
| カスタムパッケージS | <ul style="list-style-type: none"> ・動線計測ソフトウェア カスタムS (レーザー・センサー:30台まで接続可) ・推奨計測範囲:~約5,000㎡(実績値) ・対象人数:~2,000名程度 | 個別見積 | |
| 3Dセンサー パッケージS | <ul style="list-style-type: none"> ・動線計測ソフトウェア 3DセンサーS (2Dセンサー:9台、3Dセンサー:1台まで接続可) ・推奨計測範囲:~約1,000㎡程度 ・対象人数:~1,000名程度 | 個別見積 | |

データ集約・管理(センター)拠点ソフト(システム販売)について

| 品目 | 構成 | 価格(税別) | 販売開始時期 |
|----------|--|-------------|-------------|
| ライトモデルC | <ul style="list-style-type: none"> ・動線計測ソフトウェア ライトモデルC ・対象人数:80名程度 ・WEB分析レポート、閲覧機能 ・センサー拠点集約数:最大30拠点 | 2,000,000 円 | 2016年10月19日 |
| バリューモデルC | <ul style="list-style-type: none"> ・動線計測ソフトウェア バリューモデルC ・対象人数:500名程度 ・WEB分析レポート、閲覧機能 ・センサー拠点集約数:最大30拠点 | 4,000,000 円 | |
| カスタムモデルC | <ul style="list-style-type: none"> ・動線計測ソフトウェア カスタムモデルC ・対象人数:2,000名程度 ・WEB分析レポート、閲覧機能 ・センサー拠点集約数:最大30拠点 | 個別見積 | |

※教育、導入・支援サービス、レポートサービスは、別途、見積もりが必要となります。
 レーザー・センサー等の動線計測サービスに必要な機器類も、当社から購入可能です。
 センサー拠点における動線計測システム組み込み販売も、個別見積にて対応します。

■「動線計測ソリューション」に関するホームページ

<http://www.hitachi-ite.co.jp/products/o-tracking/index.html>

■商標に関する表示

記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■お客さまお問い合わせ先

株式会社日立情報通信エンジニアリング 営業統括本部 営業戦略統括本部 [担当: 柏原]
〒220-6125 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワーB25 階
電話: 050-3163-1755 (直通)

■報道機関お問い合わせ先

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 経営・事業企画本部 企画部 [担当: 中村]
〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワーB 22 階
電話: 050-3163-5726 (直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
